



日立キャピタル



2017年11月10日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
東急不動産株式会社
日立キャピタル株式会社
株式会社 eco プロパティーズ

中部エリア最大級のマルチテナント型物流施設 「(仮称) 桑名プロジェクト」着工

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：芳井敬一）、東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈郁仁）、日立キャピタル株式会社（本社：東京都港区、社長：川部誠治）、株式会社 eco プロパティーズ（本社：東京都港区、社長：片地格人）の4社は、2017年11月10日、三重県桑名市においてマルチテナント型物流施設※1「(仮称) 桑名プロジェクト」を着工しましたので、お知らせします。

「(仮称) 桑名プロジェクト」は、4社の共同出資による特定目的会社「桑名開発特定目的会社」が開発する中部エリア※2 最大級のマルチテナント型物流施設（敷地：約 70,000 m²、延床面積：約 158,000 m²）です。

※1.テナント企業様が複数入居可能な物流施設。

※2.愛知県・岐阜県・三重県の3県。



「(仮称) 桑名プロジェクト」イメージ

1. 立地について

当施設は、東名阪自動車道「桑名インターチェンジ」・「桑名東インターチェンジ」より車で約 10 分の場所に位置し、名古屋市内および名古屋港への交通利便性に優れた立地に建設されるマルチテナント型物流施設です。将来的には、東海環状自動車道（2020 年度全線開通予定）や新名神高速道路（2023 年度全線開通予定）の全線開通により、交通利便性がさらに高まり、東日本と西日本の新たな結節点となることが期待されます。

2. 中部エリア最大級の物流施設

（1）当施設の特長

当施設は、地上 6 階建てで、各階の倉庫スペースを区割りで利用できます。1 区画は約 4,600 m²から 1 フロア（26,000 m²）を一括で利用でき、最大 20 テナントが入居できます。

また、1 階には低床式、上階には高床式のトラックバースを設け、各階へ大型車両が直接アクセス可能なダブルランプウェイを採用しました。さらに、施設内には垂直搬送機を設置し、入居テナント企業様が上・下階の複数フロアを利用することも可能です。

加えて、BCP 対策として非常用発電機や井水設備も導入します。

（2）従業員が働きやすい物流施設

当施設は、三重県および桑名市協力のもと、400 名以上の従業員を受け入れることを想定し、屋外と屋上あわせて 430 台の駐車場を完備しました。

また、共用施設には売店や休憩スペース、シャワー室等を設置し、従業員の働きやすさにも配慮しました。

今後も、大和ハウス工業の物流施設開発における建設・運営実績、東急不動産の街づくり・不動産開発の実績、日立キャピタルグループにおける不動産事業の実績、eco プロパティーズの物流不動産マネジメントやリーシングネットワークを活かし、新たな物流拠点開発に取り組んでいきます。

●施設概要

プロジェクト名	「(仮称) 桑名プロジェクト」
所在地	桑名市多度町力尾（工業団地「テックベース桑名」内）
敷地面積	70,253.35 m ²
延床面積	157,911.68 m ²
構造	SRC+S 造 地上 6 階建て
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
着工	2017 年 11 月 10 日
竣工	2019 年春



【物件位置図】

●起工式について

2017年11月10日の着工に先立ち、10月20日に起工式を執り行いました。起工式には、桑名市長 伊藤徳宇様をはじめ、三重県や桑名市のご担当者様、桑名市多度力尾土地区画整理組合様や近隣自治会様、設計・施工を担当する大和ハウス工業、および東急不動産、日立キャピタルグループの不動産事業会社である日立キャピタルコミュニティ、eco プロパティーズの関係者一同が参列し、安全を祈願しました。



起工式写真

以 上